

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和7年2月2日 9時45分～12時00分)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は90問で解答時間は正味2時間15分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) (例1)の問題ではaからeまでの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1) 201 歯科医師免許を付与するのはどれか。1つ選べ。

- 保健所長
- 厚生労働大臣
- 地方厚生局長
- 都道府県知事
- 内閣総理大臣

(例1)の正解は「b」であるから答案用紙の**(b)**をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

201	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
			↓		
201	(a)	●	(c)	(d)	(e)

答案用紙②の場合、

201	201
(a)	(a)
(b)	●
(c)	→ (c)
(d)	(d)
(e)	(e)

- (2) (例2)の問題では a から e までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を2つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例2) 202 歯科医籍訂正の申請が必要なのはどれか。2つ選べ。

- a 氏名変更時
- b 勤務先変更時
- c 住所地変更時
- d 診療所開設時
- e 本籍地都道府県変更時

(例2)の正解は「a」と「e」であるから答案用紙の (a) と (e) をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

202	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
			↓		
202	●	(b)	(c)	(d)	●

答案用紙②の場合、

202	202
(a)	●
(b)	(b)
(c)	→ (c)
(d)	(d)
(e)	●

- (3) (例3)の問題では a から e までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を3つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例3)の質問には2つ以下又は4つ以上解答した場合は誤りとする。

(例3) 203 歯科医籍の登録事項はどれか。3つ選べ。

- a 氏 名
- b 勤務先
- c 住所地
- d 生年月日
- e 本籍地都道府県

(例3)の正解は「a」と「d」と「e」であるから答案用紙の (a) と (d) と (e) をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

203	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
			↓		
203	●	(b)	(c)	●	●

答案用紙②の場合、

203	203
(a)	●
(b)	(b)
(c)	→ (c)
(d)	●
(e)	●

- (4) (例4)の問題では a から e までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を4つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には3つ以下又は5つ解答した場合は誤りとする。

(例4) 204 医療法に基づき広告可能な診療科名はどれか。4つ選べ。

- a 歯 科
- b 矯正歯科
- c 小児歯科
- d 審美歯科
- e 歯科口腔外科

(例4)の正解は「a」と「b」と「c」と「e」であるから答案用紙の (a) と (b) と (c) と (e) をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

204	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
204	●	●	●	(d)	●

答案用紙②の場合、

204	204
(a)	●
(b)	●
(c) →	●
(d)	(d)
(e)	●

- (5) (例5)の問題では問題ごとに正答数が異なるので、それぞれに適した選択肢をすべて選び答案用紙に記入すること。

例えば、質問に適した選択肢の数が3つである場合は、2つ以下又は4つ以上解答した場合は誤りとする。

(例5) 205 医療法に基づく医療計画の対象となる疾病はどれか。すべて選べ。

- a が ん
- b 肺 炎
- c 肝疾患
- d 脳卒中
- e 精神疾患

(例5)の正解は「a」と「d」と「e」であるから答案用紙の (a) と (d) と (e) をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

205	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
205	●	(b)	(c)	●	●

答案用紙②の場合、

205	205
(a)	●
(b)	(b)
(c) →	(c)
(d)	●
(e)	●

(6) 選択肢が6つ以上ある問題については質問に適した選択肢を1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例6)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例6) 206 令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計で人口10万人当たりの歯科医師数が最も少ないのはどれか。1つ選べ。

- a 北海道
- b 青森県
- c 茨城県
- d 埼玉県
- e 滋賀県
- f 和歌山県
- g 鳥取県
- h 徳島県
- i 佐賀県
- j 沖縄県

(例6)の正解は「b」であるから答案用紙の**(b)**をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

206	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)
206	(a)	●	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	(j)

↓

答案用紙②の場合、

206	206
(a)	(a)
(b)	●
(c)	(c)
(d)	(d)
(e)	(e)
(f)	(f)
(g)	(g)
(h)	(h)
(i)	(i)
(j)	(j)

→

- (7) 順序問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な選択肢をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例7)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合や同じ選択肢を複数回使用した場合は誤りとする。

(例7) 207 これから地域歯科保健活動を実施する予定である。

活動内容を実施の順番に並べよ。

解答：①→②→③→④→⑤

- a 解 析
- b 計 画
- c 実 施
- d 調 査
- e 評 価

(例7)の正解は①が「d」、②が「a」、③が「b」、④が「c」、⑤が「e」であるから①は答案用紙の(d)を、②は(a)を、③は(b)を、④は(c)を、⑤は(e)をそれぞれマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
②	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
207 ③	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
④	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
⑤	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)

答案用紙②の場合、

207

①	②	③	④	⑤
(a)	(a)	(a)	(a)	(a)
(b)	(b)	(b)	(b)	(b)
(c)	(c)	(c)	(c)	(c)
(d)	(d)	(d)	(d)	(d)
(e)	(e)	(e)	(e)	(e)

- (8) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例8)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例8) 208 中学校1年生100名の学校歯科健康診断の集計結果を表に示す。

記号(歯式)	計(歯数)
/	2,430
C	40
CO	35
○	75
△	70

DMF 歯率を求めよ。

ただし、小数点以下第2位を四捨五入すること。

解答: ①. ② %

- | | |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

(例 8) の正解は ① が「7」、② が「4」であるから①は答案用紙の ⑦ を、
 ②は ④ をそれぞれマークすればよい。

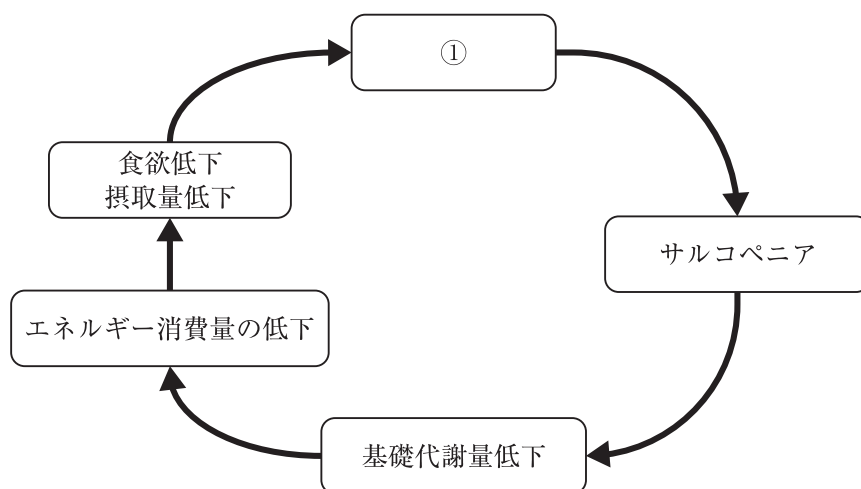
答案用紙①の場合、

①	0	1	2	3	4	5	6		8	9
208 ②	0	1	2	3		5	6	7	8	9

答案用紙②の場合、

208	
①	②
0	0
1	1
2	2
3	3
4	
5	5
6	6
	7
8	8
9	9

1 フレイルサイクルの一部を図に示す。



①に入るのはどれか。1つ選べ。

- a 低栄養
- b 筋力低下
- c 口腔機能低下
- d 認知機能低下
- e 歩行速度低下

2 歯科治療の際に室温に配慮すべき先天異常はどれか。1つ選べ。

- a 骨形成不全症
- b Crouzon 症候群
- c 鎖骨頭蓋骨異形成症
- d 第一第二鰓弓症候群
- e 無汗型外胚葉形成不全

3 老年症候群において後期高齢者から増加傾向を示すのはどれか。1つ選べ。

- a 下痢
- b 褥瘡
- c 頭痛
- d 息切れ
- e めまい

4 幼児の仕上げ磨きに適したブラッシング法はどれか。1つ選べ。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c ローリング法
- d スクラッピング法
- e スティルマン改良法

5 医療面接における患者の回答で、解釈モデルの理解に役立つのはどれか。

1つ選べ。

- a 「痛い歯を避けて歯みがきをしています」
- b 「熱い食べ物を口にすると痛みが強くなります」
- c 「1週間前から徐々に痛みが強くなってきました」
- d 「多忙で治療を中断したため痛くなったと思います」
- e 「これまでに歯の治療で気分が悪くなったことはありません」

6 歯槽骨に向けた内斜切開を行う歯周外科手術はどれか。1つ選べ。

- a 新付着術
- b 歯肉切除術
- c フラップ手術
- d 結合組織移植術
- e 歯周ポケット搔爬術

7 抗菌薬の点滴静注開始後に突然、気分不良、喘鳴を伴う呼吸困難および全身皮膚の掻痒感を訴えた。

症状出現に関与するのはどれか。1つ選べ。

- a IgA
- b IgD
- c IgE
- d IgG
- e IgM

8 歯齢として咬合発育段階を分類したのはどれか。1つ選べ。

- a G. V. Black
- b K. Eichner
- c M. Hellman
- d R. E. Scammon
- e W. G. A. Bonwill

9 咬合圧の検査はどれか。1つ選べ。

- a 篩分法
- b 咬合音検査
- c 感圧フィルム法
- d パントグラフ法
- e ゴシックアーチ描記法

10 デブリードマンの目的はどれか。1つ選べ。

- a 止血
- b 除痛
- c 創部保護
- d 瘢痕除去
- e 壊死組織除去

11 成長に伴う口蓋の下方成長に最も関係するのはどれか。1つ選べ。

- a 頬骨前面の骨吸収
- b 上顎結節の骨添加
- c 鼻腔内壁の骨添加
- d 鼻骨前面の骨添加
- e 硬口蓋鼻腔側の骨吸収

12 咀嚼力を発揮するために必要な感覚刺激を受容するのはどれか。2つ選べ。

- a 象牙芽細胞
- b 閉口筋の筋紡錘
- c 閉口筋の Golgi 腱器官
- d 口腔粘膜の自由神経終末
- e 歯根膜の Ruffini 神経終末

13 セファロ分析の距離計測項目のうち、口呼吸によって変化する値はどれか。

1つ選べ。

- a N-S
- b N-Me
- c S-Ba
- d Ar-Gn
- e ANS-PNS

14 歯科訪問診療で MRSA 陽性患者の口腔衛生管理実施後に、最初に取り外す個人用防護具はどれか。1つ選べ。

- a ガウン
- b マスク
- c キャップ
- d グローブ
- e ゴーグル

15 客観的に定量化できるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯 痛
- b 咬断能力
- c 喉頭侵入
- d 舌の可動性
- e 発声言語の明瞭度

16 発熱を伴うのはどれか。1つ選べ。

- a 莓状舌
- b 溝状舌
- c 黒毛舌
- d 平滑舌
- e 地図状舌

17 疾患の治療を目的に使用した医療機器が原因と考えられる重篤な副作用が発生した。

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に規定されている報告義務先はどれか。1つ選べ。

- a 警察署長
- b 保健所長
- c 市区町村長
- d 厚生労働大臣
- e 都道府県知事

- 18 エタノールが最も強い殺菌効果を示す濃度はどれか。1つ選べ。
- a 20%
 - b 40%
 - c 60%
 - d 80%
 - e 99%
- 19 細胞周期のうち微小管の形成阻害で停止するのはどれか。1つ選べ。
- a G0 期
 - b G1 期
 - c G2 期
 - d S 期
 - e M期
- 20 象牙質への擦過刺激による痛みの発現に関与する神経線維はどれか。1つ選べ。
- a $A\alpha$
 - b $A\beta$
 - c $A\delta$
 - d B
 - e C

21 生体活性を有する生体材料はどれか。1つ選べ。

- a チタン
- b ジルコニア
- c ステンレス鋼
- d 炭酸アパタイト
- e ポリテトラフルオロエチレン

22 歯周ポケット内で運動するのはどれか。1つ選べ。

- a *Treponema denticola*
- b *Tannerella forsythia*
- c *Prevotella intermedia*
- d *Fusobacterium nucleatum*
- e *Porphyromonas gingivalis*

23 象牙質形成不全症の特徴はどれか。3つ選べ。

- a 歯髄腔の拡大
- b エナメル質の剝離
- c 歯冠の著しい咬耗
- d セメント質の肥厚
- e 歯冠のオパール様光沢

24 散乱線を低減し、エックス線コントラストを向上させるのはどれか。3つ選べ。

- a グリッドの使用
- b 照射時間の延長
- c 必要最小限の照射野
- d 正放線方向からの照射
- e 被写体—検出器間距離の増加

25 54歳の女性。下顎左側小白歯部の腫脹と動揺を主訴として来院した。1年前から自覚していたがそのままにしていたという。歯周基本治療後の再評価の結果、フラップ手術を行うこととした。初診時のエックス線画像(別冊No. 1A)と術中の口腔内写真(別冊No. 1B)を別に示す。再評価時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌 側*	4	3	⑤	⑧	4	4	4	3	4
歯 種	3			4			5		
頬 側*	4	3	④	⑦	⑤	4	4	3	4
動揺度**	0			1			0		

* : プロービング深さ(mm)

○印: プロービング時の出血

** : Miller の判定基準

次に行う処置はどれか。1つ選べ。

- a 縫 合
- b 肉芽除去
- c 自家骨移植
- d オドントプラスティ
- e スケーリング・ルートプレーニング

別 冊

No. 1 A、B

26 2020年度の我が国における社会保障給付費の内訳の関係で正しいのはどれか。

1つ選べ。

- a 医療 > 年金 > 福祉
- b 医療 > 福祉 > 年金
- c 年金 > 医療 > 福祉
- d 年金 > 福祉 > 医療
- e 福祉 > 医療 > 年金

27 79歳の男性。経口摂取を希望して脳神経内科からの紹介で来院した。半年前に脳幹梗塞を発症し、現在は胃瘻で栄養管理されている。音声や構音障害は認めず嚥下時の喉頭挙上は良好であったが、嚥下後に激しいむせを認めた。口腔機能時の顔面写真(別冊No. 2A)、口腔機能時の口腔内写真(別冊No. 2B)及び唾液の嚥下を記録した嚥下内視鏡検査の画像(別冊No. 2C)を別に示す。

むせの原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 舌運動不良
- b 咽頭収縮不良
- c 鼻咽腔閉鎖不全
- d 食道入口部開大不全
- e 嚥下運動パターンの異常

別 冊

No. 2 A、B、C

28 染色体数が45であり、低身長、性腺機能不全、翼状頸、外反肘などがみられる。

この先天異常の顎口腔領域における特徴はどれか。1つ選べ。

- a 高口蓋
- b 溝状舌
- c 上顎劣成長
- d タウロドント
- e エナメル質減形成

29 12歳の男児。定期健診のため4か月ぶりに来院した。最近になって下顎右側第二大臼歯が萌出してきており、ブラッシング時に出血することがあるという。咬合時の疼痛は認めない。来院時の口腔内写真(別冊No. 3)を別に示す。

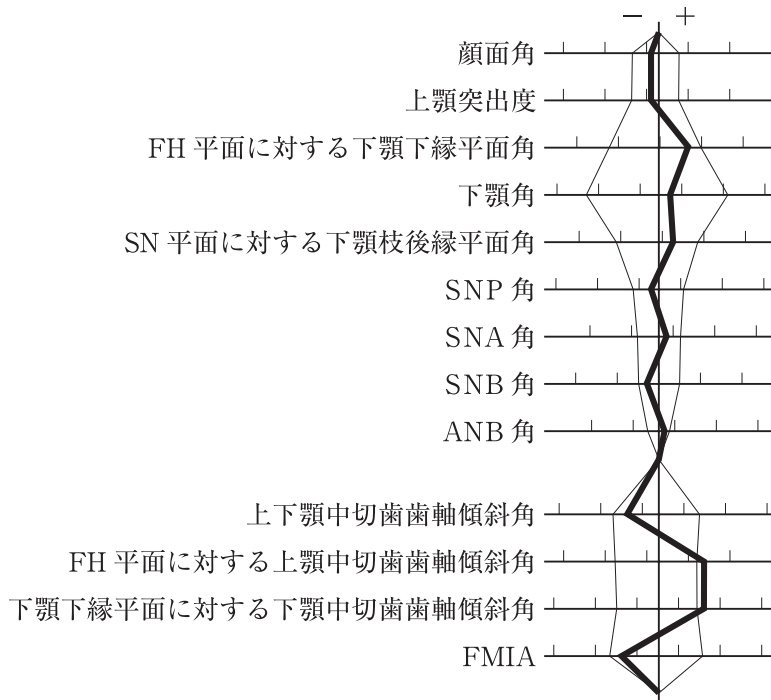
適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 予防填塞
- b 歯肉弁切除
- c ブラッシング指導
- d フッ化ジアンミン銀塗布
- e フッ化ナトリウム溶液塗布

別 冊

No. 3

30 19歳の女性。上顎前歯の突出感を主訴として来院した。アーチレングスディスクレパンシーは上顎 +1 mm、下顎 +3 mm である。診断の結果、拔牙を伴うマルチブラケット装置を用いた矯正歯科治療を行うこととした。初診時の顔面写真(別冊No. 4A)、口腔内写真(別冊No. 4B)及びエックス線画像(別冊No. 4C)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



拔牙部位(智歯を除く)と併用する矯正装置の組合せで正しいのはどれか。

1 つ選べ。

- a $\frac{4}{4}$ ——— チンキャップ
- b $\frac{4}{4}$ ——— 急速拡大装置
- c $\frac{5}{5}$ ——— サービカルヘッドギア
- d $\frac{4}{4}$ ——— 上顎前方牽引装置
- e $\frac{4}{5}$ ——— ハイプルヘッドギア

別 冊
No. 4 A、B、C

31 歯髓生活反応を示す歯根完成歯で、抜髄が適応となるのはどれか。2つ選べ。

- a 一過性の冷水痛
- b 持続性の温熱痛
- c 象牙質の擦過痛
- d 咀嚼時の電撃痛
- e 拍動性の自発痛

32 咀嚼時における上顎義歯の動揺を主訴として来院した患者の口腔内写真(別冊 No. 5)を別に示す。

新義歯製作に際して主訴の改善に寄与するのはどれか。3つ選べ。

- a 咬合床の形状
- b 個人トレーの形状
- c 精密印象材の流動性
- d 前歯部人工歯の材質
- e 前歯部人工歯の排列位置

別 冊

No. 5

33 77歳の男性。食事中のむせを主訴として来院した。1年前に脳梗塞を発症したが、現在はリハビリテーションを受けていない。食事形態は普通食であり、液体にはとろみをつけていないという。口腔機能検査では異常値が認められなかったが、嚥声を生じており、改訂水飲みテスト時にむせがあったため嚥下造影検査を行うこととした。液体の嚥下を記録した嚥下造影検査の画像(別冊No. 6)を別に示す。

推奨される間接訓練はどれか。1つ選べ。

- a 開口訓練
- b 舌抵抗訓練
- c 頭部挙上訓練
- d 頸部可動域訓練
- e プッシング訓練

別 冊

No. 6

34 糖尿病の慢性合併症はどれか。4つ選べ。

- a 神経障害
- b 脳血管障害
- c 虚血性心疾患
- d 糖尿病網膜症
- e 糖尿病ケトアシドーシス

- 35 55歳の男性。インプラント治療後のメンテナンスを希望して来院した。プラークの染め出しを行った後の口腔内写真(別冊No. 7A)と、日常的な清掃を行ってもらった後の口腔内写真(別冊No. 7B)を別に示す。

清掃指導で使用を推奨するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯磨剤
- b 洗口剤
- c 歯間ブラシ
- d タフトブラシ
- e 毛の硬い歯ブラシ

別 冊
No. 7 A、B

- 36 副腎皮質ステロイド薬の長期服用患者の舌の病理組織像(別冊No. 8)を別に示す。
染色法はどれか。1つ選べ。

- a PAS 染色
- b Grocott 染色
- c SudanⅢ 染色
- d Papanicolaou 染色
- e Ziehl-Neelsen 染色

別 冊
No. 8

37 骨粗鬆症治療薬テリパラチドの標的分子はどれか。1つ選べ。

- a ビタミンD受容体
- b エストロゲン受容体
- c カルシトニン受容体
- d 副甲状腺ホルモン受容体
- e RANK〈receptor activator of NF- κ B〉

38 口臭恐怖症患者の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 自身の口臭を訴える。
- b 代謝性疾患を有する。
- c 重度の歯周炎が認められる。
- d 口臭検査結果の説明に対する理解が得られにくい。
- e 呼気中に認知閾値以上の揮発性硫黄化合物が検出される。

39 先天歯について正しいのはどれか。3つ選べ。

- a 過剰歯のことがある。
- b 歯根は完成している。
- c 男児が女児よりも多い。
- d 上顎乳中切歯のことが多い。
- e 授乳に困難をきたすことがある。

- 40 67歳の男性。咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、上顎右側にインプラント義歯による歯科補綴治療を行うこととした。上部構造装着前の口腔内写真(別冊No. 9A)と製作した上部構造の写真(別冊No. 9B)を別に示す。

装着のために準備する器材はどれか。3つ選べ。

- a 咬合紙
- b トルクレンチ
- c アバットメント
- d 補綴用スクリュー
- e クラウンリムーバー

別 冊

No. 9 A、B

- 41 健康増進事業として実施される歯周疾患検診で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 代表歯を診査する。
- b 実施主体は市町村である。
- c 根拠法は地域保健法である。
- d 成人の全住民を対象とする。
- e 受診率の全国平均は約50%である。

42 54歳の女性。上顎左側側切歯の激しい疼痛を主訴として来院した。1か月前から違和感を自覚していたが痛みがないためそのままにしていたところ、2日前から自発痛を認めるようになったという。打診痛と根尖部歯肉圧痛を認めるが、波動は触れない。プロービング深さは全周2mm以内で、歯髄電気診に生活反応を示さなかった。初診時の口腔内写真(別冊No. 10A)とエックス線画像(別冊No. 10B)を別に示す。

当日の適切な対応はどれか。3つ選べ。

- a 根管洗浄
- b 根尖搔爬
- c 根管通過法
- d 抗菌薬の投与
- e 根尖孔の穿通

別 冊

No. 10 A、B

43 7歳の男児。左下の奥歯が生えてこないことを主訴として来院した。Eは4歳ころに生え始めたが、完全には生えてこないという。初診時の口腔内写真(別冊No. 11A)とエックス線画像(別冊No. 11B)を別に示す。

Eへの対応で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 牽引を行う。
- b 自然萌出を待つ。
- c 歯肉切除を行う。
- d ただちに抜歯する。
- e E萌出後に抜歯する。

別 冊

No. 11 A、B

44 器具の写真(別冊No. 12)を別に示す。

ファーストオーダーバンドに用いるプライヤーはどれか。2つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊

No. 12

45 パンデミック防止のために WHO が行うのはどれか。2つ選べ。

- a ワクチンの開発
- b 個人用防護具の生産
- c 国境等における検疫
- d 感染症発生状況の把握
- e 必要な保健措置の勧告

46 コンポジットレジンと象牙質との接着界面の走査電子顕微鏡像(別冊No. 13)を別に示す。

矢印間の構造物の機能で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 外来刺激の遮断
- b スミヤー層の除去
- c レジンの重合促進
- d コラーゲン線維の溶解
- e 微細機械的保持の獲得

別 冊

No. 13

47 58歳の女性。下顎左側臼歯部の欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。口腔内検査後、研究用模型上でも検査することとした。初診時の口腔内写真(別冊No. 14A)、研究用模型の写真(別冊No. 14B)及びワックスアップ後の模型の写真(別冊No. 14C)を別に示す。

ワックスアップの目的はどれか。2つ選べ。

- a 咬合高径の設定
- b 歯冠形態の設定
- c 歯冠色調の決定
- d 欠損部空隙の確認
- e 最終補綴装置の決定

別 冊

No. 14 A、B、C

48 下顎大臼歯部から下顎枝に及ぶ波動を伴う顎骨嚢胞に対して開窓術を行う目的はどれか。2つ選べ。

- a 根治性の向上
- b 周囲骨の新生
- c 治療期間の短縮
- d 病的骨折の防止
- e 下歯槽神経の温存

49 幼若エナメル質に最も多く含まれるタンパク質はどれか。1つ選べ。

- a エナメリン
- b アメロゲニン
- c ホスホホリン
- d I型コラーゲン
- e アメロブラスチン

50 58歳の男性。食事中に上顎左側第一小臼歯が欠けたことを主訴として来院した。自発痛はなく、歯髄電気診に生活反応を示した。4にコンポジットレジン修復を行うこととした。初診時の口腔内写真(別冊No. 15A)と修復操作中の口腔内写真(別冊No. 15B)を別に示す。

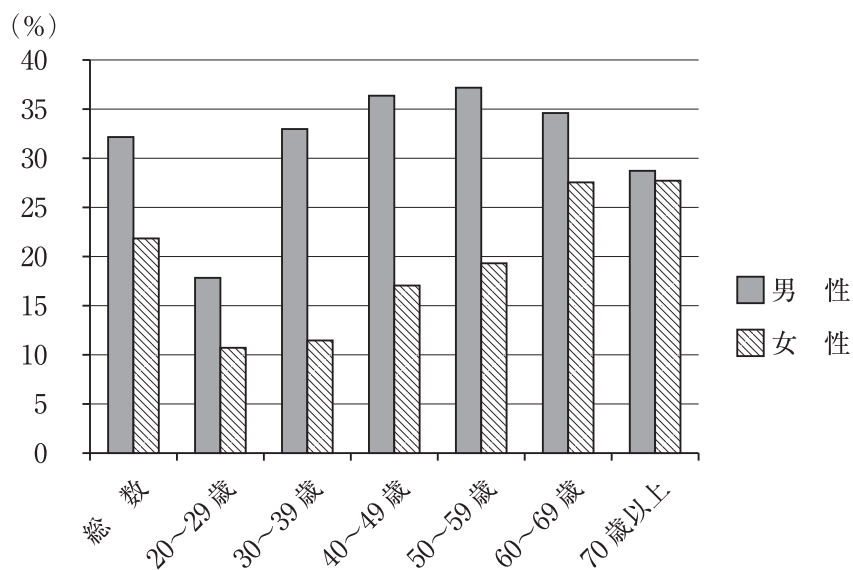
次に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 裏 層
- b 隔壁設置
- c 歯肉圧排
- d プレウェッジ
- e ボンディング材塗布

別 冊

No. 15 A、B

51 平成 30 年国民健康・栄養調査結果の総数と年齢階級別の該当者の割合を男女別に図に示す。



該当するのはどれか。1 つ選べ。

- a 肥満者(BMI ≥ 25)
- b 運動習慣のある者
- c 糖尿病が強く疑われる者
- d 現在習慣的に喫煙している者
- e 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者

52 65歳の女性。下顎前歯部の動揺を主訴として来院した。6か月前から自覚し、痛みがないのでそのままにしていたが、1週間前から動揺が大きくなってきたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 16A)とエックス線画像(別冊No. 16B)を別に示す。初診時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌 側*	⑦	④	⑥	⑧	④	⑤	④	③	④	④	2	3
歯 種	2			1			1			2		
唇 側*	⑨	④	⑧	⑧	④	⑥	⑤	2	④	④	2	3
動揺度**	3			3			1			0		

* : プロービング深さ(mm)

○印: プロービング時の出血

** : Miller の判定基準

口腔清掃指導と暫間固定の次に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 歯肉整形
- b 連結前装冠製作
- c 歯周ポケット搔爬術
- d 局所薬物配送システム(LDDS)
- e スケーリング・ルートプレーニング

別 冊

No. 16 A、B

53 88歳の男性。高血圧、脳梗塞および不整脈の既往がある。下顎左側第一大臼歯の抜去が予定された。局所麻酔中に突然胸部不快感を訴え、その直後に意識を消失した。呼びかけに反応がなく、頸動脈の拍動を触知できない。このときの心電図(別冊No. 17)を別に示す。

直ちに行うのはどれか。2つ選べ。

- a 電氣的除細動
- b β 遮断薬の投与
- c 胸骨圧迫心マッサージ
- d ニトログリセリンの投与
- e アトロピン硫酸塩水和物の投与

別 冊

No. 17

54 硬化体にキレート結合を有するのはどれか。2つ選べ。

- a 水硬性セメント
- b リン酸亜鉛セメント
- c グラスアイオノマーセメント
- d 酸化亜鉛ユージノールセメント
- e ポリカルボキシレートセメント

55 右側頬部の違和感と鼻閉感で来院した患者のエックス線画像(別冊No. 18A、B)とCT(別冊No. 18C)を別に示す。

原因で最も疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 真菌
- b 放線菌
- c 緑膿菌
- d レンサ球菌
- e 黄色ブドウ球菌

別 冊 No. 18 A、B、C

56 73歳の男性。咀嚼困難を主訴として来院した。3年前に製作した上下顎全部床義歯は安定しているが、食事の際に物が噛みづらくなり、上顎前歯部人工歯の脱離を繰り返していたという。初診時の咬頭嵌合位での顔面写真(別冊No. 19A)、下顎安静位での顔面写真(別冊No. 19B)及び使用中の義歯の写真(別冊No. 19C)を別に示す。

咀嚼困難の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 口唇の過豊隆
- b 人工歯の咬耗
- c 下顎の前方偏位
- d 床縁の形態不良
- e 臼歯部人工歯の水平的排列位置不良

別 冊 No. 19 A、B、C

57 中枢性パターン発生器<central pattern generator>によって制御されるのはどれか。1つ選べ。

- a 咀 嚼
- b 発 声
- c あくび
- d 舌突出
- e ブローイング

58 胸部正面の模式図(別冊No. 20)を別に示す。

3点誘導法によるモニタ心電図で、赤色の電極を装着する位置はどれか。

1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊

No. 20

59 全部床義歯製作時の垂直的顎間関係を記録する際に患者に行わせるのはどれか。

3つ選べ。

- a 嚥 下
- b 発 音
- c 噛みしめ
- d 舌の挙上
- e タッピング

60 54歳の男性。オトガイ下部の腫脹を主訴として来院した。10年前から自覚し、痛みがないためそのままにしていたが、徐々に増大してきたという。摘出術を施行した。初診時の顔貌写真(別冊No. 21A)、MRI 脂肪抑制 T2 強調像(別冊No. 21B)及び摘出物の H-E 染色病理組織像(別冊No. 21C)を別に示す。

診断名はどれか。1つ選べ。

- a 鰓嚢胞
- b 脂肪腫
- c ラヌーラ
- d 類皮嚢胞
- e 類表皮嚢胞

別 冊
No. 21 A、B、C

61 73歳の女性。上顎左側犬歯の審美不良を主訴として来院した。診察の結果、前装冠による補綴処置を行うこととした。製作途中の補綴装置試適時の口腔内写真(別冊No. 22A)と完成した補綴装置装着後の口腔内写真(別冊No. 22B)を別に示す。

AとBの間に行うのはどれか。2つ選べ。

- a グレージング
- b フッ化水素酸処理
- c オペーク陶材の築盛
- d サンドブラスト処理
- e メタルプライマーの塗布

別 冊
No. 22 A、B

62 カ行の発音が困難な全部床義歯装着者の義歯の写真(別冊No. 23)を別に示す。

調整を検討する部位はどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊

No. 23

63 76歳の女性。下顎義歯の破損を主訴として来院した。診察の結果、下顎部分床義歯を製作することとした。初診時の口腔内写真(別冊No. 24A)と個人トレーの写真(別冊No. 24B)を別に示す。

矢印で示す部位の役割はどれか。2つ選べ。

- a 残存歯への加圧
- b 印象材の剥離防止
- c 印象材の厚みの確保
- d 印象材の築盛量の目安
- e 口腔内での定位置保持

別 冊

No. 24 A、B

64 86歳の男性。上顎全部床義歯の不適合を主訴として来院した。新義歯製作目的で印象採得中に印象材が咽頭に流れ込み、強い呼吸困難を訴えた。腹部突き上げ法で印象材の除去を試みたが不可能で、その後意識を消失した。このときの生体情報モニタ画面の写真(別冊No. 25)を別に示す。

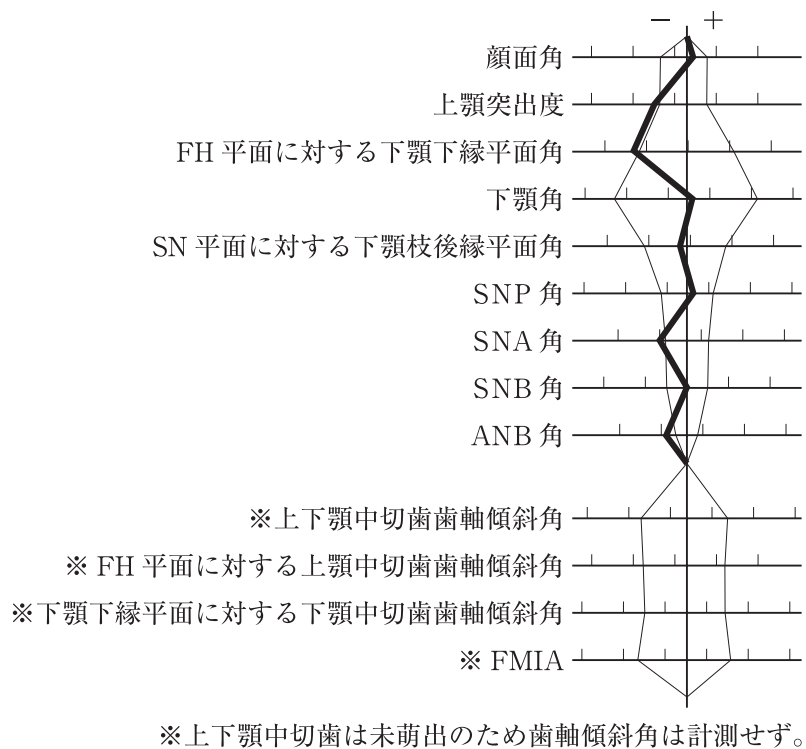
まず行う処置はどれか。1つ選べ。

- a 背部叩打法
- b 電氣的除細動
- c フルマゼニルの投与
- d 胸骨圧迫心マッサージ
- e ラリンジアルマスクの挿入

別 冊

No. 25

65 6歳の女兒。歯並びが悪いことを主訴として来院した。口唇裂と口蓋裂に対する手術の既往がある。診断の結果、ある装置を用いて矯正歯科治療を行うこととした。初診時の口腔内写真(別冊No. 26 A)とエックス線画像(別冊No. 26 B)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



適切な装置はどれか。3つ選べ。

- a 緩徐拡大装置
- b リップバンパー
- c 上顎前方牽引装置
- d トゥースポジショナー
- e スライディングプレート

別 冊
No. 26 A、B

66 上顎中切歯が早期喪失した8歳児に保隙装置を装着する目的はどれか。

3つ選べ。

- a 発声の改善
- b 審美性の改善
- c 口腔外傷の予防
- d 舌突出癖の防止
- e 咀嚼機能障害の防止

67 85歳の男性。舌の腫脹を主訴として来院した。7年前から自覚していたがそのままにしていたという。15年前から慢性腎不全のために血液透析を受けている。舌全体の粘膜下に硬化性の腫瘤を認め、所属リンパ節に明らかな腫脹を触知しない。初診時の口腔内写真(別冊No. 27A)、生検時のH-E染色病理組織像(別冊No. 27B)及びCongo-Red染色病理組織像(別冊No. 27C)を別に示す。

診断名はどれか。1つ選べ。

- a 脂肪腫
- b 神経鞘腫
- c 多形腺腫
- d リンパ管腫
- e アミロイドーシス

別 冊

No. 27 A、B、C

68 72歳の女性。市が行った介護予防教室でオーラルフレイルを指摘されて来院した。身長は150 cm、体重は50 kgで6か月前と比べて体重変化はなく、口腔内に気になる症状はないという。口腔機能検査の結果を表に示す。

検査項目	低下の該当基準	検査結果
舌苔の付着程度	50%以上	66.7%
口腔粘膜湿潤度	27 未満	26
咬合力	350 N 未満	450 N
オーラル ディアドコキネシス	どれか1つでも、 6 回/秒 未満	「パ」 6.0 回/秒 「タ」 6.0 回/秒 「カ」 6.0 回/秒
最大舌圧	30 kPa 未満	26 kPa
咀嚼能力	100 mg/dL 未満	240 mg/dL
嚥下スクリーニング検査	3 点以上	0 点

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 栄養指導
- b 構音訓練
- c 舌抵抗訓練
- d 口腔衛生指導
- e ミールラウンド

69 15歳の男子。開口困難を主訴として来院した。昨夜、自転車で転倒し顔面を強打したという。観血的整復固定術を行うこととした。初診時のエックス線画像(別冊No. 28A)と3D-CT(別冊No. 28B)を別に示す。

次に示す5つのステップのうち、3番目に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 顎間固定
- b 線副子の装着
- c 粘膜骨膜弁の剝離
- d スクリューによる固定
- e 骨接合用プレートの試適

別 冊 No. 28 A、B

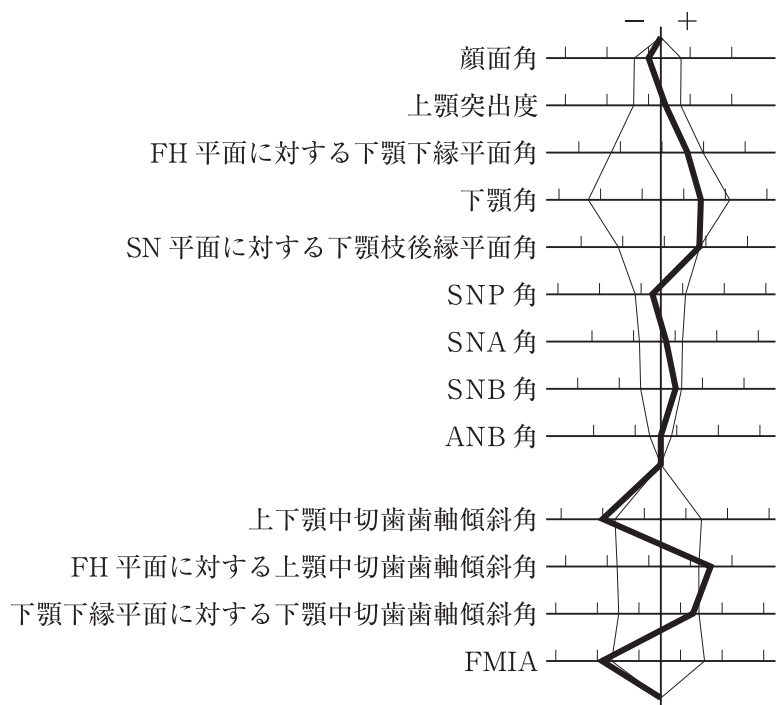
70 下顎左側臼歯部の咬合時の違和感を主訴として来院した患者のエックス線画像(別冊No. 29A)、CT(別冊No. 29B)、MRI(別冊No. 29C)及びH-E染色病理組織像(別冊No. 29D)を別に示す。

診断名はどれか。1つ選べ。

- a 軟骨腫
- b 歯原性粘液腫
- c 単純性骨嚢胞
- d 歯原性角化嚢胞
- e 石灰化上皮性歯原性腫瘍

別 冊 No. 29 A、B、C、D

71 22歳の女性。上顎前歯の突出感を主訴として来院した。診断の結果、上下顎両側第一小臼歯の抜去後、マルチブラケット装置と歯科矯正用アンカースクリューを併用した矯正歯科治療を行うこととした。初診時の顔面写真(別冊No. 30A)、口腔内写真(別冊No. 30B)及びエックス線画像(別冊No. 30C)を別に示す。セファロ分析の結果を図に示す。



治療後に予想される変化はどれか。3つ選べ。

- a FMIAの増加
- b SNB角の減少
- c 顔面角の減少
- d 鼻唇角の増加
- e 上下顎中切歯歯軸傾斜角の増加

別 冊
No. 30 A、B、C

72 皮膚の色素沈着を伴うのはどれか。1つ選べ。

- a Down 症候群
- b Crouzon 症候群
- c Gardner 症候群
- d Ramsay Hunt 症候群
- e McCune-Albright 症候群

73 デンチャープラーク染め出し後の義歯の写真(別冊No. 31 A、B)を別に示す。患者は毎食後に義歯用ブラシで清掃を行っているという。

清掃状態の改善のために行うのはどれか。2つ選べ。

- a アルコール浸漬
- b サンドブラスト処理
- c 人工歯咬合面の研磨
- d 義歯洗浄剤の使用指示
- e 義歯用ブラシ使用法の再指導

別 冊

No. 31 A、B

74 薬剤による有害事象が高齢者に多い原因はどれか。3つ選べ。

- a 急性疾患の増加
- b 咀嚼機能の低下
- c 認知機能の低下
- d 複数疾患の罹患
- e 薬物動態の加齢変化

75 機能性反対咬合の改善によって小さくなるのはどれか。1つ選べ。

- a Y 軸角
- b 下顎角
- c 顔面角
- d ANB 角
- e 上顎前突度

76 61 歳の女性。上顎右側犬歯の歯肉腫脹を主訴として来院した。1 か月前から自覚していたがそのままにしていたという。初診時の口腔内写真(別冊No. 32A)とエックス線画像(別冊No. 32B)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

唇 側*	3	2	3	3	⑧	3	3	3	3
歯 種	5			3			2		
口蓋側*	3	3	3	3	3	3	3	3	3
動揺度**	0			1			0		

* : プロービング深さ(mm)

○印: プロービング時の出血

** : Miller の判定基準

原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯根破折
- b 根尖性歯周炎
- c 歯肉縁下歯石
- d 頬小帯付着異常
- e 二次性咬合性外傷

別 冊 No. 32 A、B
--

77 補綴装置の脱離を主訴として来院した患者の口腔内写真(別冊No. 33A)とエックス線画像(別冊No. 33B)を別に示す。

感染歯質除去の次に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 隔壁形成
- b 支台築造
- c 感染根管治療
- d 歯冠長延長術
- e 歯根尖切除術

別 冊

No. 33 A、B

78 上顎前歯部にレジン前装ブリッジを製作することとした。口腔内で支台歯とフレームワークの適合を確認後に常温重合レジンで固定し、ろう付け後に口腔内で再度試適したところ支台歯に適合しなくなった。

不適合の原因で考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 不十分な固定
- b 支台歯形成量の不足
- c 歯型のトリミング不足
- d 支台歯の不鮮明な印象
- e 埋没材の不適切な混水比

79 在宅歯科診療でエックス線撮影を行う際、撮影に関与しない者が患者およびエックス線管から確保すべき最低距離(m)はどれか。1つ選べ。

- a 0.5
- b 1
- c 2
- d 3
- e 5

80 3歳の女兒。歯がぐらぐらすることを主訴として来院した。1時間前に転倒し顔を強打したという。上顎右側乳中切歯の動揺度は2度であった。初診時の口腔内写真(別冊No. 34A)とエックス線画像(別冊No. 34B)を別に示す。

適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 経過観察
- b 整復固定
- c 生活歯髄切断
- d 抜 髄
- e 抜 歯

別 冊

No. 34 A、B

81 免疫能が低下した患者にウイルスの日和見感染で生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 多形紅斑
- b 類天疱瘡
- c 毛状白板症
- d 白色海綿状母斑
- e 扁平苔癬様病変〈口腔苔癬様病変〉

82 健やか親子 21(第2次)で示された基盤課題はどれか。3つ選べ。

- a 若年性認知症施策の強化
- b 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策
- c 障害児の健やかな育成のための発達支援
- d 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策
- e こどもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

83 咬頭嵌合位において臼歯部に Jankelson II 級の早期接触が認められた。

削合する部位はどれか。1つ選べ。

- a 下顎頬側咬頭外斜面
- b 下顎頬側咬頭内斜面
- c 上顎頬側咬頭内斜面
- d 上顎口蓋側咬頭外斜面
- e 上顎口蓋側咬頭内斜面

84 E-line の評価に必要な部位はどれか。3つ選べ。

- a 鼻下点
- b 額の最突出点
- c 上唇の最突出点
- d 下唇の最突出点
- e オトガイ部の最突出点

85 摂食嚥下障害患者が行うバルーン拡張訓練で、改善が期待できるのはどれか。

1つ選べ。

- a 喀出力
- b 口唇閉鎖
- c 喉頭挙上
- d 声門閉鎖
- e 食道入口部開大

86 MRI T2 強調像で無信号を呈するのはどれか。1つ選べ。

- a 舌
- b 顎下腺
- c 脂肪髄
- d 皮質骨
- e 内側翼突筋

87 異常呼吸と疾患の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 奇異呼吸 ————— 心不全
- b 起坐呼吸 ————— 脳梗塞
- c 呼気延長 ————— 気管支喘息
- d 口すぼめ呼吸 ————— 糖尿病
- e Kussmaul〈クスマウル〉呼吸 ——— 過換気症候群

88 先天異常と不正咬合の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a Down 症候群 ————— 上顎前突
- b 骨形成不全症 ————— 鋏状咬合
- c Crouzon 症候群 ————— 下顎前突
- d Treacher Collins 症候群 ————— 上下顎前突
- e Beckwith-Wiedemann 症候群 ———— 開 咬

89 顎骨内に発生した嚢胞の H-E 染色病理組織像(別冊No. 35)を別に示す。

診断名はどれか。1つ選べ。

- a 歯根嚢胞
- b 含歯性嚢胞
- c 単純性骨嚢胞
- d 鼻口蓋管嚢胞
- e 歯原性角化嚢胞
- f 術後性上顎嚢胞
- g 石灰化歯原性嚢胞

別 冊

No. 35

- 90 下顎部分床義歯フレームワーク製作のための作業用模型の写真(別冊No. 36A)、
口腔内試適前の写真(別冊No. 36B)及び製作過程の写真(別冊No. 36C)を別に示す。
製作過程を実施の順番に並べよ。

解答：A → ① → ② → ③ → ④ → ⑤ → B

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

別 冊
No. 36 A、B、C

